

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年(2026年)3月31日

提出区分	実績	整理番号	2	課題区分	C	令和8年(2026年)3月31日	
横断的な課題	信州まつもと空港の利用促進と拠点整備の推進					松本地域振興局	
地域重点政策	信州まつもと空港の利用促進と拠点整備の推進						
実施機関	松本地域振興局			担当課	所属		
事業名	地元特産品魅力発信事業				電話	0263-40-1933	
					E-mail	matsuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	信州まつもと空港の定期便就航地において、地元特産品を紹介することにより、空港の利用促進と地元特産品の消費拡大を実現する					
	現状と課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●RKB毎日放送(福岡県福岡市)のイベントには、松本市及び信州まつもと空港地元利用促進協議会等が20年以上にわたり信州ブースを設置し、出展を続けてきた。 ●本事業は、信州ブース内で地元特産品(ワイン、伝統的工芸品)のPRを行うことで、信州ブース全体の訴求力を向上させ、リピーターの確保や信州のファンづくりに貢献している。 ●これまでの取組を通じて、以下のとおり一定の成果が得られている。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度のまつもと空港の利用者数は、開港以来3番目に多く、中でも福岡便が最も多かった。<空港の利用促進> ・令和6年度は、ワイン・ジュースのグラス提供(946杯)や伝統的工芸品の展示による魅力発信を通じて、信州ブース内で、ワインボトル(100本)、木曾漆器・松本紬等の商品(14点)の販売につながった。<地元特産品の消費拡大> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●より効果的に事業を実施するため、信州まつもと空港地元利用促進協議会等と連携し、視認性の向上や信州ブース全体の回遊性を高めるなど、来場者をさらに増やす工夫を図っていく必要がある。 					
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ●当地域の特産品であるワインと伝統的工芸品を組み合わせる魅力を発信することにより、新たなファンを開拓し、消費拡大を図るとともに、信州を身近に感じていただき、信州まつもと空港の利用促進につなげていく。実施にあたっては、以下のイベントに出展し、信州まつもと空港地元利用促進協議会と連携して行う。 <p>[イベント概要]</p> <p>名称: RKBカラフルフェス2025 開催日時: 2025年10月11日(土)・12日(日) 出展場所: 福岡県福岡市早良区百道浜2-3-8(RKB毎日放送会館西側駐車場) 主な内容: ・桔梗ヶ原ワインバレー及び日本アルプスワインバレーのワイン及びぶどうジュースの提供 ・木曾漆器箸(アンケートノベルティ)の提供 ・伝統的工芸品(木曾漆器グラス・お椀・箸、曲げ物等)の展示</p>					
	事業期間	令和7年9月 ~ 令和7年10月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	RKB毎日放送イベントへの出展	イベント出展に関する企画調整業務等の委託	980,904	・グラスワイン等の販売体制の構築 ・ワインバレー、伝統的工芸品のPR ・木曾漆器箸の調達及び提供			
		職員旅費	305,590	・松本-福岡往復旅費、宿泊費(3名分)			
合計		1,286,494					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	ワインバレーのワイン及びぶどうジュースの提供		500杯以上	878杯	● 達成		
	伝統的工芸品の体験いただくための木曾漆器箸の提供		150膳以上	200膳	○ 一部達成		
	松本-福岡便の年間利用者数 (参考)令和4年度から令和6年度における平均利用者数 約8万6000人/年		8万6000人以上	9万1199人	○ 未達成		
事業実績・成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡で開催されたRKBカラフルフェス2025の信州ブース内に「ワインブース」を設置し、松本地域のグラスワイン(21種類)とぶどうジュース(2種類)を計878杯(過去3年間と同水準)提供するとともに、伝統的工芸品(木曾漆器、曲げ物、松本本型藍染、松本押絵雛等)を展示・PR ・松本地域のワイン、伝統的工芸品、定期就航便に関心を持っていただくためのアンケート(ノベルティ:木曾漆器箸)を約200名に実施 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワインブース来場者のリピーター率が昨年比10%上昇(44%→55%)しており、継続した取組によりファン獲得につながっている。 ・日本ワイン受賞品を中心としたラインナップの充実、ミスワインを招聘したPR活動、展示方法の見直しなどにより、目標を上回るワイン等の提供数や来場者の高い満足度(アンケートで「不満」、「やや不満」の回答者はゼロ)につながった。 ・相乗効果として、ワインボトルや木曾漆器等の販売にもつながっており、地元特産品の消費拡大を図ることができた。(販売は、信州ブース内に出展している「信州まつもと空港地元利用促進協議会のメンバー」と連携) 						
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果が出ているため、信州まつもと空港地元利用促進協議会のメンバーとの連携を図りながら、来年度も事業を継続していく。 ・より多くの方に信州の魅力を感じてもらえるよう、ワインや伝統的工芸品の訴求方法を工夫するなど、来場者を増やす取組を行っていく。 					